

- 1 多言語読み聞かせ教室
- 2 平成29年度事業紹介
- 3 JICA三重デスクからのお知らせ
- 4 MIEFからのお知らせ

多言語読み聞かせ教室

県内の在住外国人数は43,445人（平成28年12月末現在）となり、定住化の傾向がより一層顕著になっています。各教育機関に在籍する外国につながる子どもたちが増加するにつれて、保護者・保健師および学校関係者等から、日本語教育だけでなく、母語教育についての相談が聞かれるようになりました。母語は、家族とのコミュニケーションに必要であり、子どもたちのアイデンティティの形成にも重要です。また、複数の言語を習得しておくことは、子どもたちの将来的な可能性を広げることにもつながります。

そこでMIEFでは、平成26年度より多言語による読み聞かせ活動を企画・実施しています。絵本や紙芝居を通して、子どもたちが日本語と母語の両方に親しみ、多様な言語・文化への興味と関心を高める機会を提供しています。

この活動のために、昨年度は三重県の民話『だんだらぼっち』をやさしい日本語で書き直した紙芝居を制作しました。中国語・タガログ語・ポルトガル語・スペイン語による翻訳と、^{なまじり}波切弁による語りを掲載した別冊がついており、複数の言語で楽しむことができます。



▲紙芝居に夢中な子どもたち

5月31日に外国につながる子どもが集まるアート&ヴィーダ（津市高茶屋）で、「親と子の多言語おはなし会」を開催し、紙芝居『だんだらぼっち』を日本語とポルトガル語で読み聞かせました。4歳から12歳まで21人の子どもたちと保護者4人が集まりました。一つ目の大男『だんだらぼっち』を村人が退治するユニークな話に、みんな真剣に聞き入っていました。紙芝居の後には、大きな紙で帽子を折

り、子どもたちが思い思いの顔を描いて、『だんだらぼっち』になりました。最後は元気な声で「しあわせなら手をたたこう」を日本語とポルトガル語で歌い、にぎやかにおはなし会を終えました。

紙芝居『多言語で楽しむ三重のおはなし だんだらぼっち』は外国につながる子どもたちが在籍している県内の教育機関および関連する支援団体などに無償で配布しています。MIEF 事務所まで取りに来てください。送料をご負担いただける場合はお送りいたします。ぜひお問合せください。



▲みんなで「だんだらぼっち」になりました！

トピックス

長年のご寄付に感謝いたします。

平成29年6月15日(木)、国際ソロプチミスト三重賞として、MIEFの「小さなブラジル図書館」にご寄付をいただきました。

国際ソロプチミスト三重様からは平成20年度より継続してご寄付をいただいています。これまでに購入したポルトガル語の書籍は小説、絵本、教材等807冊に上ります。書籍の貸出しを行っています。ぜひご利用ください。



▲平成28年度に購入した書籍

平成29年度 事業紹介

◆多文化共生社会の推進に関する事業

(1) 多様な人材の育成と活動の推進

- 日本語学習支援事業
- 医療通訳育成事業
- 医療通訳配置および派遣事業
- 診療科別多言語医療用語集作成事業
- 災害時外国人住民支援事業
- 財団パートナー制度運営事業

(2) 多文化共生の地域づくり支援

- 外国人住民消費者被害防止事業
- 避難所運営訓練事業

(3) 外国人相談体制の充実

- 外国人住民相談事業
- 労働相談室電話相談通訳事業
- 県営住宅に入居する外国人入居者等への指導管理通訳業務
- 結核に関する電話通訳事業
- 人権相談等における通訳業務請負事業

(4) 多文化共生教育の推進

- 多文化共生教育センター事業
(みーくの運営、進学ガイダンス)
- 日本語教材、日本語指導教材の研究・開発・発行
- 外国につながる子どもたちの教育実践研究会
- 外国につながる子どもたちを見守るための連携研修会
- 多言語による読み聞かせ教室

(5) 相互理解促進

- 多文化共生啓発事業
- 「多文化共生」の強みを生かす国際理解事業

◆国際交流の促進に関する事業

- 韓国高校生交流事業
- 国際交流団体調査
- インターネットによる情報提供・情報発信
- 機関誌 (MIEF NEWS) の発行

◆国際協力の拡充に関する事業

- パラオ青少年育成事業
- 在外県人会連絡活動支援事業
- 留学生等支援事業

★医療通訳育成研修★

外国人住民や観光客の増加により、外国人が医療機関にかかる機会は増えています。

MIEFは三重県からの委託により、医療通訳者の育成および普及に取り組んでいます。今年度も次の日程で、ポルトガル語・スペイン語・フィリピン語・中国語の医療通訳育成研修を実施します。

- 第1回 6月25日(日) 13:30~16:30
- 第2回 7月23日(日) 10:00~16:15
- 第3回 8月27日(日) 10:00~16:15
- 第4回 9月24日(日) 10:00~16:15
- 第5回 10月中旬 実地研修

詳細についてはHPをご覧ください。

★外国人住民を主な対象とした防災セミナー★

三重県に暮らす外国人住民の中には、地震の経験がない人や母国で防災教育を受けていない人もいます。MIEFでは三重県からの委託により、災害時外国人住民支援事業を実施しています。

日時: 7月5日(水) 18:30~20:30

場所: 志摩市役所 4階会議室

対象者: 志摩市内に住む(働く)外国人住民、外国人を雇用する企業担当者、日本語教室ボランティア、外国人住民支援に関心のある地域住民

その他の取り組みについては、日程が決まり次第HPにてお知らせしますので、ぜひご覧ください!

★韓国高校生交流事業★

MIEFでは、韓国と三重県の高校生が相互の異文化理解を深めることを目的として、韓日高校生交流事業を実施しています。今年度の交流予定は次の通りです。

○8月23日~28日

昴学園高校が、韓国養正高校を訪問

○10月23日~27日

韓国聖南高校が、津商業高校を訪問

○11月1日~5日

津商業高校が、韓国聖南高校を訪問

○11月10日~15日

韓国養正高校が、昴学園高校を訪問

交流の様子は次号以降のMIEF NEWSでご報告する予定です。お楽しみに!

JICA三重県デスクからのお知らせ

JICAボランティア体験記

今回は、青年海外協力隊として西アフリカのセネガルに派遣されていた杉村由紀さんにお話をお伺いしました。看護師として2年間活動されていました。

杉村 由紀さん【三重県員弁郡出身】

派遣期間：2013年7月から2015年7月 派遣国：セネガル 職種：看護師



セネガルはどんな国でしたか？

アフリカ大陸の最西端。パリダカールラリーで有名なダカールを首都とする国。年間2か月の雨季以外は雨が一滴も降らない乾季。暑い時は気温が50度になることも……。公用語はフランス語でありながら、他に10以上の民族語が存在。派遣された村の医者がない診療所で、住民への啓発活動や、診療所の業務改善を行いました。電気も水道も満足ではないし、就学率も低い。ないものづくしの国だけど、知らない人も、私みたいな外国人も、困った人はほっとけない、たまに度が過ぎるぐらいのお世話やきさんの、気温も人の心もあつ——い国でした。

セネガルで学んだこと

当り前は当り前じゃない。①時間通りに電車が来ること。②6歳になったらみんな1年生になること。③水道からは毎日水がでること。④トイレにはトイレットペーパーがあること。⑤病気になったら病院に行けること。すべて当り前ではなく、たくさんの人の努力で自分がその環境に身を置かせてもらっている。そして固定観念を持っていたんだと。あ、あともうひとつ、一夫一妻もあたりまえではない（セネガルはイスラム教で一夫四妻という家族の形もあります。）。

協力隊に参加して *Before*

日本の病院で看護師として働いていました。やりたいと思ったことが決断できないとき、夢は叶えてしまえ！ という性格で、協力隊参加前にワーキングホリデーでオーストラリアに行ったり、沖縄に移住して沖縄の病院で働いたりしていました。



変わった自分 *After*

初めての発展途上の国での生活。急に2年が経ったわけではなく日々の積み重ねで2年が経過していたので、自分では何が変わったのか帰国当初は分からなかったけれど、日本での生活をしていく中で、セネガルに行く前の自分なら理解しようとしなかったかもしれないような価値観の違いに耳を傾けたり、理解しようとするようになったのかなと思います。そして、日本にある色々なものが当り前ではなく、ありがたいものだとも感じるようになりました。

杉村由紀さんの『自分への勇気の言葉』



挑戦せずに後悔するくらいなら、失敗して反省しよう。

【JICA ボランティアについてのお問合わせ】

(公財) 三重県国際交流財団内 JICA 三重県デスク (TEL: 059-223-8003)



MIEFからのお知らせ

賛助会員募集

賛助会員は、MIEFの趣旨にご賛同いただき活動を支援していただく会員制度です。

【入会金】 無料

【年会費】 団体会員 : 1口 12,000円

個人会員 : 1口 3,000円

パートナー会員 : 1口 1,000円

(※パートナー会員は財団パートナー制度にご登録いただいている方が対象です。)

当財団への寄附金および賛助会費は、公益財団法人への寄附金として、所得税・相続税・法人税の税制上の優遇措置を受けることができます。詳しくはホームページをご覧ください。多文化を尊重できる社会づくりを目指した財団事業の充実のため、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

【特典】

- ・世界の国旗（掲揚旗、卓上旗）を無料貸出
- ・通訳・翻訳パートナー制度利用料3,000円を50%割引
- ・MIEF発行の日本語教材・指導教材『みえこさんのにほんご』シリーズ購入価格10%割引
- ・事業内容等を掲載した機関誌「MIEF NEWS」を年3回お届け

～入金方法～

■ゆうちょ銀行〇八九店 当座0018074

(口座名義：公益財団法人三重県国際交流財団)

■百五銀行津駅前支店 普通292889

(口座名義：公益財団法人三重県国際交流財団賛助会費口)

■財団事務所にて現金でもお支払いいただけます。

ようこそMIEFの輪へ

皆様の温かいご支援ありがとうございます。

(平成29年2月1日～平成29年5月31日ご入金分。順不同・敬称略)

団体会員：(有)栄光実業、ユニバーサル技術センター協同組合、三重県協力隊を育てる会、三重県国公立幼稚園・こども園長会

個人会員：井田芳浩、珍道世直、近藤由美子、三宅春子、永戸千草、上田百合子、安田正、浦中千佳央、上田富和、森川優子、石井りか

パートナー会員：早瀬光秋

実践研究会のお知らせ

今年度も次の日程で、外国につながる子どもたちの教育を考える、MIEF実践研究会を行います。

●第1回：7月24日(月) 13:30～16:30

場所：アスト津4階会議室1

内容：外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLAの使い方〈書〉編

講師：東京外国語大学大学院国際日本学研究院 准教授 菅長 理恵さん

●第2回：8月7日(月) 13:30～16:30

場所：アスト津4階研修室A

内容：県内の取り組みから — 津市における外国人児童生徒のための取り組みについて — (津市教育委員会、津市立高茶屋小学校、津市立東橋内中学校、三重県立みえ夢学園高等学校からの取り組み発表)

対象は、三重県内学校・園等の教職員と日本語教室、日本語学習支援者および母語支援者等広く外国人児童生徒の教育に関わる全ての方です。ぜひご参加ください。なお、参加申込書はHPをご覧ください。

多言語相談窓口について

MIEFでは、外国人住民が毎日の生活の中で感じる疑問や悩みごとの相談に対応するため、4言語で生活相談を受けています。ご利用ください。

対応言語	時間
ポルトガル語 スペイン語 英語 フィリピン語	月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日、年末年始を除く)

電話番号：059-223-5006まで



開館案内 開館：月～金 9:00～17:00 / 閉館：土・日・祝日・年末年始

対応言語 ポルトガル語・スペイン語・英語・フィリピン語

発行 (公財) 三重県国際交流財団 (MIEF)

〒514-0009 三重県津市羽所町700番地 アスト津3階 TEL 059-223-5006 FAX 059-223-5007
ホームページアドレス：http://www.mief.or.jp Eメールアドレス：mief@mief.or.jp

Facebook:公益財団法人三重県国際交流財団(MIEF) Twitter:@MIEFsince1991

